

活動写真



地域の学校で結核教育を行う結核サポーター。学校側が授業時間を割いてくれた。ザンビアの学校は HIV 教育を始め、保健教育に熱心だ。



治療卒業式で記念撮影。元小児結核患者と家族、結核サポーターが出席する。どの子も元気で参加者から自然と笑みがこぼれる。



世界 HIV の日のイベントに参加する結核サポーター達。天候にも恵まれ、関連団体と行進をして会場に向かった。



結核予防投薬開始に向けてのワークショップを開催した。予防投薬の必要性を実際に患者家族に説明するのは結核サポーター達。皆真剣に講義を受けている。



来院した患者さんの結核カードを探す結核サポーター。数百人の結核患者を抱える保健センターでは、事務仕事にも結核サポーターの存在が欠かせない。



チャワマ保健センターにて自転車の贈呈式。コンパウンドは車が通れない道が多い。結核サポーター達の活動範囲は自転車によって広がる。



料理教室で作った料理の説明を聞く小児結核患児とその家族。この日のメニューはトウモロコシ粥、野菜入りポリッジ、マンゴージュース。



料理教室でつくった料理の試食の時間。小さな子どもが多いため、やわらかなペースト状の料理が多い。試食が楽しみで参加している人も多い。



料理教室で一人ひとりの身長と体重を計測する。保健センターの栄養士（右）の監督の元に行われるため、結核サポーターが教わる機会でもある。



リフレッシュートレーニングでグループワークの発表を準備するサポーター達。トレーニングにも必ずグループワークが組まれる。



家庭農園研修を受ける結核サポーター。丁寧に土を耕して種をまいた。



月例会集会で自分たちの活動の様々な問題を話合う結核サポーター。患者さんへの対応に問題はないか、データの記載漏れをどう防ぐか、など議題はつきない。